



株式会社ランシステム



2022年8月15日

各位

会社名 株式会社ランシステム
代表者役職氏名 代表取締役社長 日 高 大 輔
(コード番号:3326)

問い合わせ先 常務取締役 面 高 英 雄
T E L 0 3 - 6 9 0 7 - 8 1 1 1 (代)

(訂正)資本準備金の額の減少及び剰余金の処分に関するお知らせ

2022年7月28日に発表いたしました「資本準備金の額の減少及び剰余金の処分に関するお知らせ」に記載の金額に変更がございましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

(訂正前)

1. 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

当社は、2022年6月期の個別決算において 699,788,019 円の繰越利益剰余金の欠損を計上しております。今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保するとともに、早期の復配を実現するため、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分を行います。

2. 資本準備金の額の減少の要領

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金 535,913,311 円のうち 287,788,019 円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 287,788,019 円

(3) 資本準備金の額の減少の方法

会社法第 448 条第 1 項の規定に基づき、資本準備金の一部を減少させ、その他資本剰余金に振り替えます。

3. 剰余金の処分の要領

会社法第 452 条の規定に基づき、上記の資本準備金の一部の減少及びその他資本剰余金の増加の効力発生を条件として、増加後のその他資本剰余金を振り替え、繰越利益剰余金を増加させ、欠損を補填するものであります。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 699,788,019 円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 699,788,019 円

(訂正後)

1. 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

当社は、2022年6月期の個別決算において 711,483,033 円の繰越利益剰余金の欠損を計上しております。今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保するとともに、早期の復配を実現するため、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分を行います。

2. 資本準備金の額の減少の要領

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金 535,913,311 円のうち 299,483,033 円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 299,483,033 円

(3) 資本準備金の額の減少の方法

会社法第 448 条第 1 項の規定に基づき、資本準備金の一部を減少させ、その他資本剰余金に振り替えます。

3. 剰余金の処分の要領

会社法第 452 条の規定に基づき、上記の資本準備金の一部の減少及びその他資本剰余金の増加の効力発生を条件として、増加後のその他資本剰余金を振り替え、繰越利益剰余金を増加させ、欠損を補填するものであります。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 711,483,033 円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 711,483,033 円

以上